

# 中古救急車援助事業 報告書

平成 18 年度

フィジー諸島共和国  
バ・ミッション・メソジスト病院



フィジー諸島の海

平成 20 年 8 月  
社団法人 日本外交協会

## 1. 本事業の趣旨

日本において、救急自動車・消防自動車・塵芥収集車といった特殊自動車は、自治体の管理下で所有・利用され、一定期間の後に廃棄される。ただし、処分直前までは予備車として、各消防本部や各自治体にて整備された状態で保管されているのが通常である。日本国内で使用し続けることが困難になった中古車両でも、使用中の保管・整備が徹底されているため状態は良く、このような車両が不足している開発途上国からは、ぜひ使用したいという要請が多い。

社団法人日本外交協会では、各自治体やその消防本部に対して、車両廃棄予定を調査の上、要請条件に合うものを譲渡していただけるよう、協力を依頼している。譲渡を受けた車両は、引き取り、整備・修理、輸送の手配等を日本外交協会の責任において行い、要請のあった途上国に送り届けることになる。その際には、外務省と協議しながら、政府開発援助（ODA）の中の「リサイクル草の根・人間の安全保障無償資金協力」を利用し、その後5年間程度は使用してもらえようような状態で現地へ搬送している。

## 2. 要請団体

フィジー諸島共和国 バ・ミッション・メソジスト病院

## 3. 供出団体と譲与車両（以下、順不同）

救急車2台

供出団体	メーカー	車台番号	製造年
南会津地方広域市町村圏組合消防本部	ニッサン	VRMGE24058626	1992年
安達地方広域行政組合消防本部		VRMGE24103903	1994年

## 4. 実施の経緯

<要請の背景>

フィジー諸島共和国は、南太平洋の美しい海に囲まれた330個もの島々からなる国である。日本から南へ約7,000Km離れた南太平洋のほぼ中央部に位置し、各月の平均気温は23～28度と年間を通して気候に恵まれている。

今回のプロジェクトで救急車2台を要請した団体は、バ・ミッション・メソジスト病院である。この病院はバ町にあり、同町およびその周辺は17万5000人以上の人々が住んでいるが、製造から20年以上を経て走行距離が60万Kmにも達している老朽化の激しい中古救急車が1台あるのみで、常時修理に追われていた。適切な救急医療サービスを行うことが難しくなっており、緊急に救急車を求められた。

<輸送と整備について>

車両は日本の国内で整備した上で輸出している。内部の装備点検、必要な部品の交換、外装塗り直しに加え、車両の前面、及び側面には、日本の援助として送ったことを示すODAマークや、交差して並ぶフィジー諸島共和国と日本の国旗を貼付した。

<セレモニーについて>

2007年4月20日、バ・ミッション・メソジスト病院敷地内で救急車2台の引渡式が行われた。病院長コロボウ氏をはじめ病院スタッフや村の人達、日本大使館からは折笠弘維代理大使が出席した。

6. 要請から実施までの流れ

平成 18 年	9月	在フィジー諸島共和国日本大使館より、中古救急車供与の申請がある旨の連絡が当協会に入る。
	10月	車両の選定・調整、輸送費見積り調査、資金の申請手続き等
平成 19 年	2月9日	バ・ミッション・メソジスト病院と、日本大使館との間で「草の根・人間の安全保障無償資金協力」供与契約署名。
	3月2日	バ・ミッション・メソジスト病院と、日本外交協会の間で、車両譲渡に関する合意文書交換。
	3月～	車両整備開始
	3月13日	横浜港 出港
	3月30日	スバ港 到着
	4月20日	車両引渡式

－ 別添資料 －

- ・ 【地図】フィジー諸島共和国
- ・ フィジー諸島共和国 基本情報
- ・ 写真:署名式・引渡し式の様子

【地図】フィジー諸島共和国



フィジー諸島共和国 基本情報

(出典：外務省 HP)

面積	1万8,270平方キロメートル(四国とほぼ同じ大きさ。世銀)
人口	827,900人(2007年、政府人口調査)
首都	スバ(167,975人、2004年12月)
人種	フィジー系(57%)、インド系(38%)、その他(5%) (2007年政府人口調査)
言語	英語(公用語)の他フィジー語、ヒンディー語を使用。
宗教	フィジー系はほぼ100%キリスト教、インド系はヒンズー教、回教。 全人口に占める割合はキリスト教52.9%、ヒンズー38.2%、回教7.8%
主要産業	観光、砂糖、衣料が三大産業
GDP	28億米ドル(2006年、世銀)
一人当たりGNI	3,300米ドル(2006年、世銀)
我が国の援助実績 (2006年度までの累計)	(1)有償資金協力 2287億円 (2)無償資金協力 146.44億円 (3)技術協力 211.19億円
主要援助国(百万米ドル、 2005年、支出純額ベース)	(1)豪州(20.46)、(2)日本(12.59)、(3)NZ(3.47)

## 引渡式写真

本プロジェクトでは、日本からの中古救急車2台を、フィジー諸島共和国のバ・ミッション・メソジスト病院へお贈りしました。各車両は日本の自治体から無償で提供いただき、その整備・輸送にかかる費用は、日本政府の「草の根・人間の安全保障無償資金協力」（政府開発援助の一つ）の支援を受け、日本人々の善意に支えられた国際協力となっています。

在フィジー日本国大使館を通じて、平成18年度に資金が供与され、平成19年3月30日に現地へ到着いたしました。その後、平成19年4月20日に現地にて引渡式が行われました。

<p>1 署名式</p> <p>左：コロボウ院長 右：滑川雅士特命全権大使</p>	
<p>2 署名式</p> <p>バ・メソジスト・ミッション病院にて。コロボウ院長から「大変助かる！」との力の入ったスピーチもあった。</p>	



<p>3</p>	<p><b>病院内視察</b></p> <p>院内を視察する折笠弘維代理大使</p>	
<p>4</p>	<p><b>引渡式</b></p> <p>折笠代理大使から院長へ鍵の引渡し</p>	
<p>5</p>	<p><b>引渡式を終えて</b></p> <p>右端：コロボウ院長 右から2番目：折笠代理大使</p>	